

「特別の教科 道徳」の特質に応じた学習活動の展開

「特別の教科 道徳」(以下道徳科)では、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、内面的な資質としての道徳性を養う」という特質に応じた学習活動を展開することが求められています。 ※括弧内は中学校学習指導要領の表記内容

道徳科の目標に示された内容についての理解を深めることが大切です。



◆道徳的諸価値について理解する

- ・人間としてよりよく生きる上で大切なことであると理解すること(価値理解)
- ・道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さなどを理解すること(人間理解)
- ・道徳的価値を実現したり、実現できなかったりする場合の感じ方、考え方は多様であると理解すること(他者理解)

◆自己を見つめる

- ・道徳的価値をこれまでの自分の経験やそのときの感じ方、考え方と照らし合わせて捉えること

◆多面的・多角的に考える

- ・他者と対話したり協働したりしながら多様な感じ方、考え方に接することで物事を多面的・多角的に考えること

◆自己の(人間としての)生き方についての考えを深める

- ・道徳的価値の理解を自分との関わりで深めたり、自分の体験やそれに伴う感じ方、考え方を想起したりするなどして、自己の生き方についての考えを深めること

(学習活動例) 小学校第1学年 内容項目 B 親切, 思いやり

主題名 優しい心で親切に 資料名 「はしの上のおおかみ」(わたしたちの道徳)

◆道徳的諸価値について理解する

- ・動物たちを追い返すおおかみに自分を置き換え、意地悪をしているときの気持ちを考える。(人間理解)



ぼくが一番強くて偉いんだぞ。

王様みたいで気持ちがいいな。



- ・くまの後ろ姿を見送るおおかみに自分を置き換え、親切のよさについて考える。(価値理解)



くまさんに優しくしてもらってうれしいな。今度はぼくもくまさんのようにみんなに優しくしたいな。

◆自己を見つめる

- ・親切にされた経験とそのときの気持ちを想起する。



重い荷物を運んで教室に入ろうとしたとき、〇〇さんが戸を開けてくれてとてもうれしかった。

◆多面的・多角的に考える

- ・親切にしたときや、親切にされたときの気持ちを考える。



重くて大変そうだったので戸を開けてあげた。「ありがとう」って言われた。開けてあげてよかった。



床に牛乳をこぼしたときにみんながふくのを手伝ってくれた。とてもうれしかった。

◆自己の生き方についての考えを深める

- ・幼稚園児との交流活動とそのときの気持ちを想起し、自己の生き方についての考えを深める。



遊び方が分からない幼稚園の子たちにやり方を教えてあげたら喜んでくれて、とてもいい気持ちになった。教えてあげてよかった。これからもみんなに優しくしたいな。

道徳科の特質に応じた学習活動を通して、より多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかという視点で一人一人の学習状況を把握することが大切です。

